

(株)SRA ホールディングス 代表取締役社長の鹿島です。

本日、2021年3月期 第1四半期決算を発表しました。

併せて、「決算付属資料」、「2020年7月月次売上高速報」も発表しました。

今回の発表の要点は下記のとおりです。詳細は、発表資料をご覧ください。

<発表資料> <https://www.sra-hd.co.jp/>

〔2021年3月期 第1四半期業績(連結) 前年同期比〕

■売上高＝減収

■収益＝「粗利益」、「営業利益」、「経常利益」、「四半期純利益」のいずれもが増益

◎売上高:97億5千万円(2.6%減)

・開発事業(0.0%増):製造業が減少したものの、サービス業等が増加

・運用・構築事業(2.1%増):企業向けおよび大学向けが増加

・販売事業(7.2%減):(株)SRA 及び海外子会社の機器販売が減少

◎粗利益:21億29百万円(2.1%増)

◎販売管理費:11億93百万円(5.3%減)

◎営業利益:9億35百万円(13.5%増) 営業利益率:9.6%(前年同期8.2%)

◎経常利益:9億61百万円(42.4%増) 経常利益率:9.9%(前年同期6.7%)

◎四半期純利益:2億54百万円(376.1%増)

〔2020年7月月次売上高〕

(株)SRA＝一部のプロジェクトで投資抑制の影響あり

(株)AIT＝単月・累計で増加。堅調に進捗

国内子会社、海外子会社＝好調な会社があるものの、一部で投資抑制の影響あり

<発表資料> https://www.sra-hd.co.jp/ir/ir-news/index_2020.html

第1四半期の業績は、前年同期比で売上高が減収となりましたが、収益につきましては、利益率向上施策に注力したことにより、粗利益が増加し、営業利益と経常利益も増益となりました。

また、投資有価証券評価損(キャッシュアウトを伴わない一過性の評価損)を特別損失に計上しましたが、四半期純利益も増益となりました。

今後もグループ一丸となり、受注・売上の拡大を目指すと共に、さらなる収益性向上にも努めてまいります。

皆様には引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。